

第十九回国 参議院文部委員会會議録第十七号

(三五二)

昭和二十九年四月八日(木曜日)午前十一時三十七分開会

常任委員 工業 英司君
会専門員

出席者は左の通り。

委員長 川村 松助君
理事 加賀山 之雄君
加賀山 之雄君
荒木 正三郎君
相馬 助治君

委員

雨森 常夫君
木村 守江君
田中 啓一君
高橋 勲君
中川 幸平君
吉田 萬次君
杉山 昌作君
高橋 道男君
岡 三郎君
高田 なほ子君
永井 純一郎君
長谷部 ひろ君
野本 品吉君
須藤 五郎君

國務大臣

文部大臣

大達 茂雄君

政府委員

公安調査庁次長

高橋 一郎君

文部政務次官

福井 勇君

文部省初等中

等教育局長

事務局側

緒方 信一君

常任委員

会専門員

竹内 敏夫君

第七部 文部委員会會議録第十七号

昭和二十九年四月八日【参議院】

いますけれども、一応やつぱり言つて頂いたほうが大変都合がいいと思うのです。で、私もまあ質問を突は用意して来たのでありますので、出さないほうが悪いと言われればそれまでのこととすけれども、うつかりする場合もございいますから、一つそういうふうにして頂きたいと思ひますが。

○委員長(川村松助君) これは私のほうではこういうことを故意にしたのではないので、この前に一回こういう例があるだけあります。通常この委員会では前以て通告されましたその順序でやるのが慣例でありまして、殊更どうということはありません。(異議なしと呼ぶ者あり)

○高田なほ子君 そういたしますと、今日は加賀山さんの次はどなたですか。

○委員長(川村松助君) 吉田君、野本君、その三人の申込があります。

○須藤五郎君 そんな……

○岡三郎君 今の委員長のお話は一応慣例によられるということになつてい

るけれども、これからあらかじめ委員長長の許にいろいろのものが仮に出たり、これが今度はいろいろの時間によつて先着順ということになるのもややこしいので、今の計らいは、本委員会において、やはりあらかじめ出すという

ことになると又問題があるから、順次やはり発言を求めてやられることが至当だと思います。それで余りしやべ

る者ばかりしやべつて、こちらに発言の機会が廻つて来んじやないか、こういう点があると思うから、十分その間

を付度してやればいいわけです。そういうわけで加賀山さんのほうから通告が出ていふことになる、又その何月何日の文部委員会に今から質問を一括して全部委員長長の許に出すといふうなことはばか／＼しいと思うから、そこらは常識的に加賀山さんから発言されて結構ですから、委員長から質問が出てくるから、こうしますといふことは、ちよつとやめてもらいた

いと私は思う。

○委員長(川村松助君) 前回はやはり前以て通告がありまして、そのまま実行しまして御異議はなかつたわけ

です。

それから加賀山さんのことにつきま

しては、前回の委員会のこと前以て予

告がありましたけれども、それを私が

うつかりしまして後廻しにしました。

そういういきさつもありません。それ

からあのお二方はこへ来てからの申

込でありまして、御了承願います。

(了承「進行」と呼ぶ者あり)

○荒木正三郎君 質問を通告して発

言するという方法はとつていないわけ

です。今私は加賀山さんが御質問なさ

ることに反対するという意味ではあり

ません。併し従来から、質問を通告し

て発言をするという方法をとつており

ませんので、やはり従来通りやつて頂

しなれば私は混乱が起ると思うので

す。

○委員長(川村松助君) 今後の取扱い

を只今荒木委員発言のように取計つて

御異議ございませんか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

○委員長(川村松助君) 御異議がなけ

ればさよう取計いたします。

○須藤五郎君 議事進行に関して。私

は加賀山さんがどういう質問を考えて

いらつしやるかは存じませんが、これ

までたび／＼この二十四の事例に関し

て文部大臣が如何なる政治責任を感じ

ているか、政治責任をとるかという問

題に関して再三質問しておりますが、

文部大臣はそれに関して口を閉じて

返答をなさらない。併しこの法案を審

議して行く先ず最初に解決しなければ

ならん問題は、文部省が公文書として

出したところの二十四の事例に関し

て、文部大臣が如何なる責任を感じ

ておるかという点、この点を文部

大臣が口を開かなかつたら意味ない

と思うのです。ですからその点を先ず解

明してからこの議事に入らうというこ

と、私は正しいことではないかと思

うのです。ですから、その点を文部大

臣から一言もう一度ここで話つきり

お尋ねしたい。即ちこの法案の出で来

る原因を突きつめて、そうしてそれに

対して文部大臣の政治的責任を問かな

いでおいて、この法案を審議するとい

うことは僕は無意味だと思ふのです。

ですから、そのことを先ず解決して頂

いて、それから私は議事に入つて行

印刷者 大藏省印刷局